



# 園だより 8月号

YMCA 保育園ねがい  
2021年8月4日発行

## 「 平和 」

7月23日東京オリンピックの開会式が行われました。コロナ禍で賛否両論ありますが、やはり選手たちの活躍する姿は素晴らしく、私もテレビの前で日々応援しました。幼児の部屋に行った時、4・5歳のお友だちが、四角い箱の前で歓声をあげていました。担任が教えてくれたのですが、箱をテレビに見立ててオリンピック観戦をし、応援しているそうです。ご家庭で見ている様子がかがわれて、微笑ましかったです。

オリンピックの精神とは「スポーツを通して心身を向上させ、文化・国籍などさまざまな違いを乗り越え、友情、連帯感、フェアプレーの精神をもって、平和でよりよい世界の実現に貢献すること」です。全国 YMCA 教育・保育の理念は「イエス・キリストの愛と奉仕の精神に基づき一人ひとりのいのちが輝く平和な社会の実現を目指します」です。どちらにも平和という言葉が入っています。8月、平和で思い出すのは、「原爆投下の日」と「終戦記念日」のことです。8月6日、9日、15日のことを知らない人たちが増えていることを聞くと、75年以上前、何があったのか、どれだけ尊い命が理不尽に奪われてしまったのか、世界中で戦争が起こり混沌とした世界の中だったことを、私を含めその時代のことを知らない世代の者は、自ら知ろうと意識し、その事実について考え、そして伝えていくことを忘れてはいけないと思います。子どもたちと共に「平和」について考え、祈り助け合うことの大切さや必要性を共有しながら、私たちにできることを見つけ出し、平和を実現させる者として神さまを信頼しながら歩いていけたらと思います。

平和を伝えていく本の紹介で、谷川俊太郎:文 江頭路子:絵 講談社「せんそうしない」がありました。その中の「こどもとこどもはせんそうしない けんかはするけどせんそうしない」という言葉が心に残りました。オリンピックの水泳競技を見ていて、自分の力を出し切った選手がゴールをし、自分の記録を見て喜んだ後に、隣の選手と互いの健闘をたたえ合うかのようにグータッチをしているのを見て、選手と選手は全力で戦うが、戦争はしないという言葉が浮かびました。8月の礼拝は、「平和への願い」です。ご家庭でも平和について考える時を持ってみませんか。  
(園長 高橋 里香)

### ● 礼拝のおはなし ●

保育園では月1回、礼拝を守っています。私たち、一人ひとりが活かされていることへの感謝と喜びを表わす時間と考えています。聖書の中のイエスさまのお話や行為、新しい希望や喜び、勇気を与えられた人々の姿をパネルシアターを用いて毎月、職員が伝えています。また、保育者のお祈りの時の仕草や様子を観察し、子ども達はそれを模倣します。子どものそのような姿も大切に見守り育てていきたいと思っています。

子ども達のその時々喜びや悲しみの出来事、自然の中に見出す驚きや不思議な経験や思いが神様に感謝する時になれば、と願います。



## ● 8月の行事予定 ●

- 5日(木) 身体測定(全園児)
- 21日(土) 職員会議
- 25日(水) 礼拝
- 26日(木) 誕生会(ほし組・つき組・にじ組)
- 27日(金) 消火避難訓練

### 【 個人面談が始まります 】

- 8/30(月)~9/3(金) 0歳 ひかり組
- 9/6(月)~9/10(金) 1歳 かぜ組
- 9/13(月)~9/17(金) 2歳 そら組

## 遊びからの学び

つき組のKくんは、折り紙を切って“バイクに乗ってるお父さん”を一人で作りました。ハンドルを握る格好、ペダルに載せた足の角度、バイクについているパラオの国旗など。この発想は“お見事！！”です。

これまでの体験と関連付けて物事を考えたり、工夫したりしながら、子ども達は周囲にある様々な物に触発され、豊かな遊びを生み出します。



## □ 年齢別、絵本の選び方です。参考になさってください □

- ・10か月～：子どもの身の回りの物（食べ物、乗り物、動物など）を描いた絵本や、音の響きやリズムを楽しむ絵本もお勧めです。
- ・2、3歳～：子どもの日常生活に寄り添った絵本や繰り返しを大切にした昔話の絵本が子どもの想像力をふくらませることができます。
- ・4歳～：子どもの好みも出てきて、絵本選びが少し難しくなる頃です。物語を中心に選んでみましょう。絵本選びのひとつの指標として「成人式を終えた絵本」という考え方があります。出版されてから20年以上、子ども達に喜ばれてきた絵本を選んでみるのもいいでしょう。
- ・5歳～：これまで通り、絵本や童話を読んであげてください。長い物語を毎日少しずつ読める絵童話をお勧めします。文章が長い、構成の複雑なものを楽しめます。

## ● 8月のクラス目標 ●

- 0歳)・保育者とのゆったりとした関わりの中で、木陰で過ごしたり、睡眠をとったりして、休息を取り、心地よく過ごす。
  - ・保育者に見守られながら、水遊びや寒天遊びなど、様々な感覚遊びを楽しむ。
- 1歳)・受け止められたり、寄り添ってもらったりする喜びを抱いて、表情や身振りであらゆる思いを表わして過ごす。
  - ・身近な自然や素材を通して、手触りや音といった色々な感覚に出会い、保育者や友だちと遊ぶ。
- 2歳)・保育者の温かな寄り添いのもとで、今、感じているありのままの思いを豊かに表す。
  - ・保育者や友だちと、水や泥や土の感触や玩具を使った見立てをして、楽しく遊ぶ。
- 3歳)・汗をかいたり、汚れた衣服を自分で着脱したり、心地よく過ごす。
  - ・保育者や友だちとふれあって一緒に過ごす楽しさを感じる。
- 4歳)・気持ちの伝え合いやぶつかり合いを通して、穏やかに過ごす。
  - ・友だちや保育者とのやりとりやごっこ遊びから関わりを深め、一緒に過ごす時間を楽しむ。
- 5歳)・自分の気持ちを表現しながら、周囲とのつながりを深めていく。
  - ・用具や遊具を使った様々な運動遊びに興味を持ち、保育者の仲立ちの中で、友だちと一緒に工夫し、思いを伝え合い、楽しく遊ぶ。